



## 学校水泳の実施状況調査と外部委託に関する一考察



○南隆尚, 松井敦典(鳴門教育大学),  
土居陽治郎(国際武道大学), 青柳勸(新潟産業大学),  
大庭昌昭(新潟大学), 北村敬司(ジョイフルアスレチッククラブ),  
高木英樹, 橋本昇三(筑波大学)



国立大学法人  
鳴門教育大学

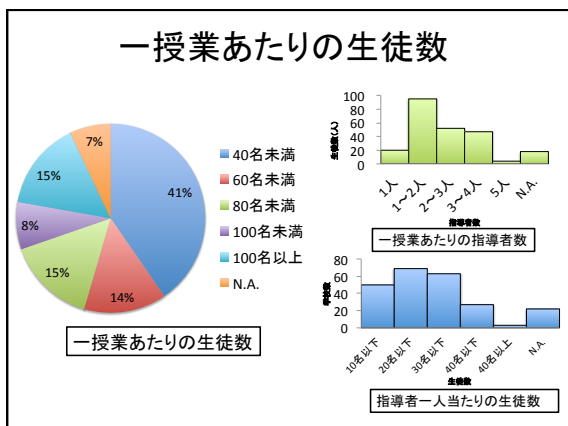
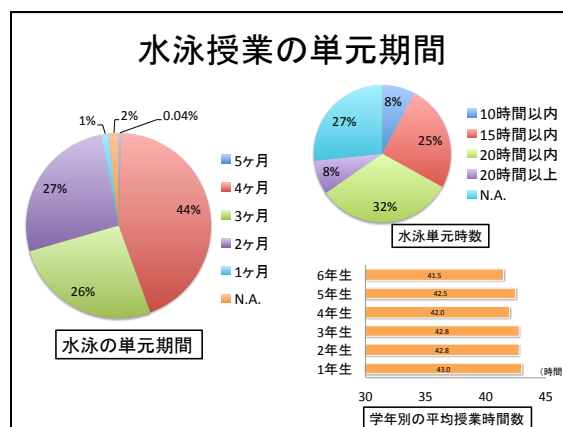
連絡先: minami@naruto-u.ac.jp

### はじめに

- 平成23年度から文部科学省による新学習指導要領が小学校で実施され、**体育の授業時間数は増加**した。体育やスポーツ教育が再認識され、また**安全・リスクも教育目標**に掲げられるようになった。東北大震災を受け、学校の役割は、子ども達への水泳指導や安全教育の他、地域の**避難拠点**としての機能も求められている。
- 同省による平成23年度学校教員統計調査の中間報告によれば**教員の高齢化が高止まり**の傾向にある。昭和30年代に設置された**プールの老朽化**も財政的理由により改修が進んでいない。
- 筆者らは、水泳授業の受講状況、教師の水泳能力について調査を行い、**教員の泳力には地域によって大きな差**があり、全国的には**低下傾向**にあることを報告した。
- 本研究では**水泳授業の実施状況とプールの稼働率、地域との連携・民間委託**などの現状について調査を行い、学校の実状に合った水泳授業実施の可能性と課題についての検討資料を得ることを目的とした。

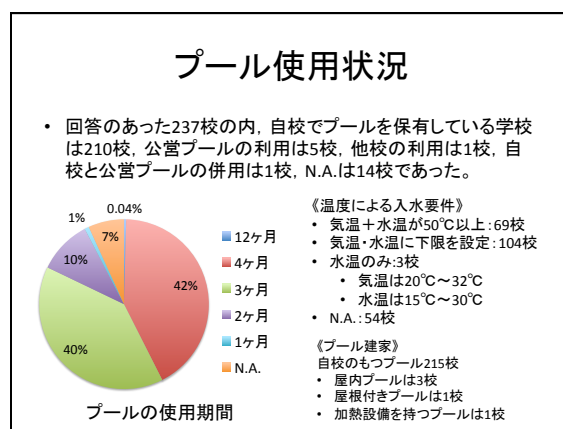
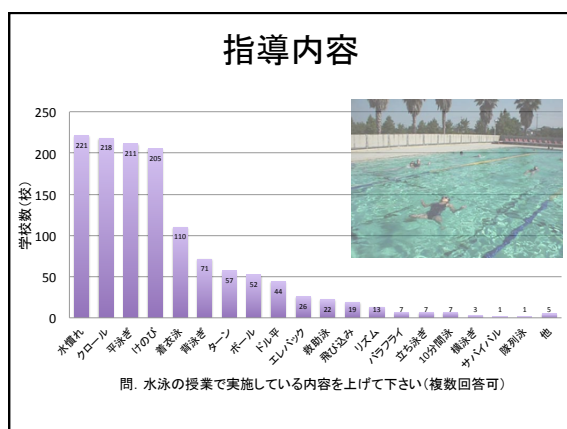
### 方法

- 調査期間: 2011年5月12日から6月11日
- 対象: 4都県で開催された教育委員会主催による水泳指導研修会受講教諭
- 方法: 質問紙法により実施。質問紙への回答は氏名・学校名とも無記入
- 主な質問項目
  - 水泳の単元期間と学年別授業数
  - 水泳授業一コマあたり生徒数と指導者
  - 外部指導者ならびに監督者の有無
  - 指導内容
  - プール所有とプール使用期間
  - プール建家と規模、プール管理者、プール設備・備品
  - 夏季休業中のプール開放の有無・期間・監視体制
  - プール水源ならびに消毒方法
  - その他(自由記述)
    - 水泳授業
    - 地域との連携についての問題点
- 集計は、Apple社製Mac Book ProによりMicrosoft Excel for Mac 2011に筆者が入力、集計を行った。回答のあった344校中の内、小学校235校の回答について集計を行った。



### 指導者の内訳と監督者の有無

- 指導者
  - 担任 (223校, 76.9%)
  - 体育専科教員 (17校, 5.8%)
  - 学級外教員 (9校, 3.1%)
  - 教育委員会派遣教員 (6校, 2.0%)
  - その他
    - 管理職, 事務職員, 支援員, 大学教員, 保護者, 赤十字指導員, 消防団, 自衛隊, 体育協会指導員, 水泳連盟, スイミングインストラクター, 地域ボランティア, 等
- 間)指導者以外に監督者を  
おいていますか?
  - 監督無し (61%)
  - 監督有り (32%)
  - N.A. (7%)

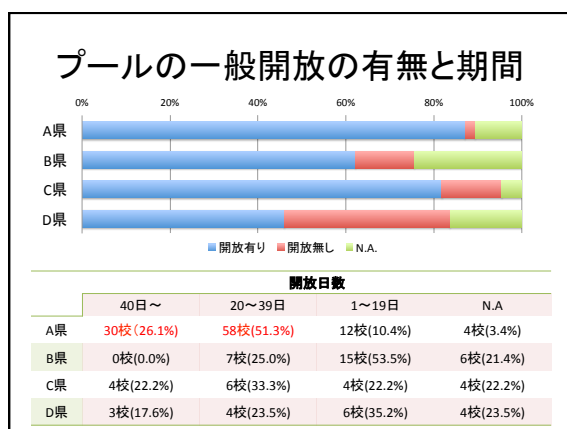
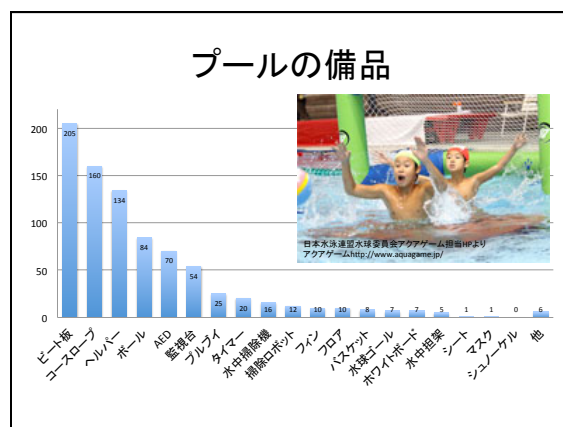


### プールの大きさ

《長さ》203校から回答  
 50m: 2校, **25m: 196校**, 20m: 4校, 18m: 1校

《幅》189校から回答  
 20m以上: 3校, 15m～19m: 53校,  
**10m～14m: 112校**, 10m未満: 18校

《最大水深》163校から回答  
 1.5m以上: 14校, 1.3m以上: 32校,  
**1.2m: 81校**, 1.1m: 28校, 1.0m: 16校,  
 可動床: 2校



### プール一般開放の監督者

実施校数	1校	75校	1校	3校	20校	3校	58校	10校	3校
監督者	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
教員	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
保護者	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
外部委託	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ボランティア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

監視員ゼロだった  
 5年山から不死

yahoo!より  
<http://image.search.yahoo.co.jp/search?p=プール監視員>

## プールの管理者と消毒方法

### 《管理者》複数回答

- 体育主任:156校
- 輪番制:38校
- 管理担当教員:13校
- 専門管理者:2校
- 民間業者:3校

### 《水源》

- 水道水:158校
- 井戸水:32校
- 河川水:9校

### 《薬剤投入方法》複数回答

- 自動投入:148校
- 手動投入:47校
- 直播き:37校

## 水泳授業の問題点について(感想)

### 《生徒》

- 生徒数・男女別指導
- 泳力不足・泳力の高い生徒の指導(生徒の泳力の二極化)
- 運動量の確保
- グループ

### 《プール・備品》

- 維持費
- 管理の手間
- 管理者の偏り
- 水温・天候

### 《教員》

- 泳力・指導力不足
- 高齢化, 性別, 専門性
- 指導者・監督者の不足

### 《学校》

- 年間計画と学校行事
- 単元計画
- 授業時間の確保

## 水泳授業の外部委託について(自由記述)

### 《賛成》

- 専門家による指導が望ましい。
- 予算がつけば賛成。
- 水質管理の負担が大きい。水泳指導よりも管理を委託したい。
- 指導者・監視人員の不足。
- レベルごとに応じた専門的な指導が受けられる。

### 《反対》

- 初歩的な泳ぎは教員でも指導できる。
- 水温などの関係で日程調整が難しい。
- 責任の所在
- スクールと学校体育は切り離した方が良い。
- 一時の指導者派遣では意味が無い。
- 予算措置

## スポーツクラブによる学校水泳の授業

**対象:** 市立F中学校1年生, 人数 127名  
 引率11名(保体教員, 担任, 校長・教頭)  
 指導スタッフ8名

**場所:** スポーツクラブ

**日時:** 2011年5月27日(金), 6月10日(金)  
 10~14時(昼食含む)  
 1日3コマ, 6コマ分の授業

**班編成について**

1班: 25m以上泳げる→目標: 300m続けて泳ぐ  
 2班: 何とか25m泳げる→目標: 50m止まらず泳ぐ  
 3班: 10mは泳げる→目標: 25m止まらず泳ぐ  
 4班: 水が苦手→目標: 10m以上浮かんで進む

**料金**  
 2,250円×130名=292,250円。  
 バス借り上げ代, 弁当380円

**学校で行わなくなった経緯**

- ・プールの老朽化, 改修に1億円。
- ・プールの維持管理費として120~130万円/年
- ・プールの耐用年数20年
- ・教育委員会からの打診により開始し, 11年目。

**スィミング側の指導者の準備はありますか?**

- ・スィミング指導者はある程度教育的な要素有り
- ・パディンシステムやグループコントロールは学校特有

**学校で行うものと比べていかがでしょうか?**

- ・実時間は6コマ分, 雨天等を考慮して10コマ分はある。
- ・水泳指導は保体教員にも有難い。
- ・生徒の受け止めも良好, 見学者がほとんどいない。
- ・人数が多くても, 習熟度別の指導が可能。
- ・通常授業では着替や移動で実質30分も入水できない。

**スィミングスクールに依頼する問題点**

- ・評価は教諭側で実施。
- ・生徒指導とパフォーマンスを評価。
- ・スィミング側も評価できる準備をしている。
- ・スィミング側の生徒評価も知りたい。
- ・生徒指導は学校教諭側で。
- ・生徒の班移動やフォローアップ
- ・個別指導は教員が行う。